

市町村アンケートの結果

【平成27年9月7日 第3回行政機構審議会提出済み資料(再掲)】

平成27年8月4日に県内全市町村に対し、県の現地機関が市町村にとって十分機能しているか、必要な機能を有しているか等をアンケート方式により照会。

問1

【検討課題1】

県の現地機関が自ら課題解決に取り組むにあたり、現地機関の権限強化や、地域の課題を自ら解決できる地域完結性の高い事業実施の機能を推進することについて

問：県の現地機関は、地域の課題を解決する上で必要な機能を果たしている(有している)と考えるか。

	平均点 ^{※1}	十分 できている	できている	普通	やや 足りない	足りない
地方事務所	6.9	2	17	20	10	2
保健福祉事務所	18.6	3	20	22	5	1
建設事務所	18.6	3	22	19	5	2

(団体数)

※1 平均点について

“十分できている”から“足りない”までを以下のように点数化し、各設問ごとに平均点として示しています。(以下同じ)

「十分できている」=100点

「できている」=50点

「普通」=0点

「やや足りない」=△50点

「足りない」=△100点

問2

【検討課題2】

県の現地機関が、本庁部局縦割りを越えた地域の課題を総合的・横断的な視点を持って対応できる体制や現地機関の企画・調整機能を推進することについて

問：地方事務所、保健福祉事務所、建設事務所等の現地機関は、事務所や課を越え、横断的・総合的に地域課題に取り組んでいると考えるか。

平均点	十分 できている	できている	普通	やや 足りない	足りない
△ 8.0	2	7	25	13	3

(団体数)

問3

【検討課題3】

県と市町村の間の役割分担のあり方、連携中枢都市圏、定住自立圏や広域連合など市町村相互の連携・協力のあり方を踏まえ、県が行う必要がある小規模市町村支援などにおける現地機関の役割について

問：県の現地機関の市町村支援は十分に行われていると考えるか。

	平均点	十分 できている	できている	普通	やや 足りない	足りない
地方事務所	8.8	1	15	28	6	1
保健福祉事務所	12.7	2	16	26	7	0
建設事務所	19.0	2	17	29	2	0

(団体数)

問4

【検討課題4】

大規模な自然災害への対応が増加している中、緊急時への対応に当たり、専門性や機動性がある組織であり、かつ、情報共有や連携が図られる危機管理対応のための現地機関の体制について

問：災害時の県の現地機関の役割・対応は十分に行われていると考えるか。

	平均点	十分 できている	できている	普通	やや 足りない	足りない
地方事務所	14.0	3	14	27	6	0
保健福祉事務所	15.3	4	13	27	4	1
建設事務所	13.3	3	15	23	8	0

(団体数)

問5

【検討課題5】

地方事務所・保健福祉事務所と建設事務所では管轄区域が異なっている地域があり、労政事務所や消費生活センターなど管轄区域は、地方事務所等の管轄区域より広い。

県民、市町村等にとって利用しやすく、効率的・効果的に行政サービスを受けることができ、県機関にとっても相互に連携して仕事を進めやすい体制について

問：県の現地機関の管轄区域について、市町村から見て何か課題はないか。

(※回答は記載方式のため、ここでは省略)

問6

【検討課題6】

県の試験研究機関において、研究テーマと行政課題との関係や、地方創生に向けた産業振興への寄与を明確にし、長野県にふさわしい役割が充分発揮できる研究体制の推進について

問：県の試験研究機関の機能・役割は、地域の産業振興に寄与しているものとするか。

	平均点	十分 できている	できている	普通	やや 足りない	足りない
全体	14.0	3	12	22	6	0

(団体数)